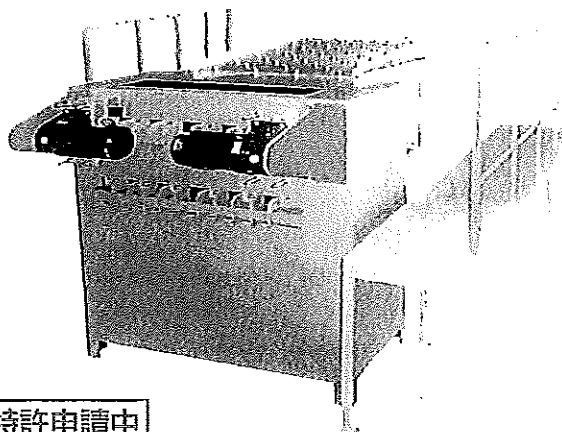


Mining

マイニング



特許申請中

「ガラスわけーるⅡ型」

廃ガラスリサイクル装置全国NO.1の実績

株式会社 環境保全サービス

住所：奥州市水沢区卸町4-7
TEL：0197-25-7522
FAX：0197-25-6229
URL：<http://khs.ne.jp/>

—会社概要—

代表取締役：狩野 公俊

資本金：3,600万円

創業設立：昭和61年3月

事業内容：ガラスリサイクル機械製造、
リサイクル商品・環境保全用品販売

太陽電池パネルリサイクルの革命児 ガラス・樹脂剥離装置を開発

廃ガラス処理・リサイクルを手掛ける当社が、廃棄された太陽光パネルのリサイクル技術を確認した。ガラス・樹脂剥離装置「ガラスわけーるⅡ型」を開発、発売開始。全国初のシステムで、特許も申請中。当社は従来からブラウン管ガラスのリサイクルを行っており、昨年度の循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞。

平成24年10月には、本社敷地内にモデルプラントが始動。以降メーカーや輸入元から廃棄パネルの処理依頼が増加している。

2012年7月に再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）が始まり、太陽光発電に参入する事業者が急増している。一方で、野外の設置であることから、大雨や大風、大雪などで壊れ、廃棄処分となるものが少なくないのが現状。これまで液晶やプラズマパネルは樹脂などが付着しているため、効率的な原料リサイクルが難しいとされていたが、大手メーカーとの共同開発も行い、何度も試行錯誤を重ねた。

今回完成したシステムは、アルミ枠の解体

工程とガラス剥離工程の2つに分けられる。アルミ枠を外したモジュールを、そのままガラス・樹脂剥離装置「ガラスわけーるⅡ型」に投入。ロールで挟み込み、ガラスを掻き落とす。剥離時間は1枚あたり10～15秒。もともと熱を加えて柔らかくし剥離する方法はあるが、温めると粘度が出て、ガラスが剥がれづらくなる。今回のシステムは常温での対応可能であることが特徴。

太陽光パネルモジュールの組成はガラス約85%、樹脂約15%であり、破碎、回収すれば資源として有効活用ができる。希少金属やシリコンの再利用等、循環型リサイクルにも大きく貢献する。

自動車のフロントガラスやガラスと樹脂が混合した窓の複層ガラス、その他樹脂がガラス製品でも対応可能という。

平成24年に稼動した第二工場もフル稼働状態。来年春に第三工場を建設予定であり処理能力の増強を図っている。高い技術と長年の研究開発実績が裏付けにあり、全国初の技術に注目が集まっている。